

伊豆市未来づくりセッション

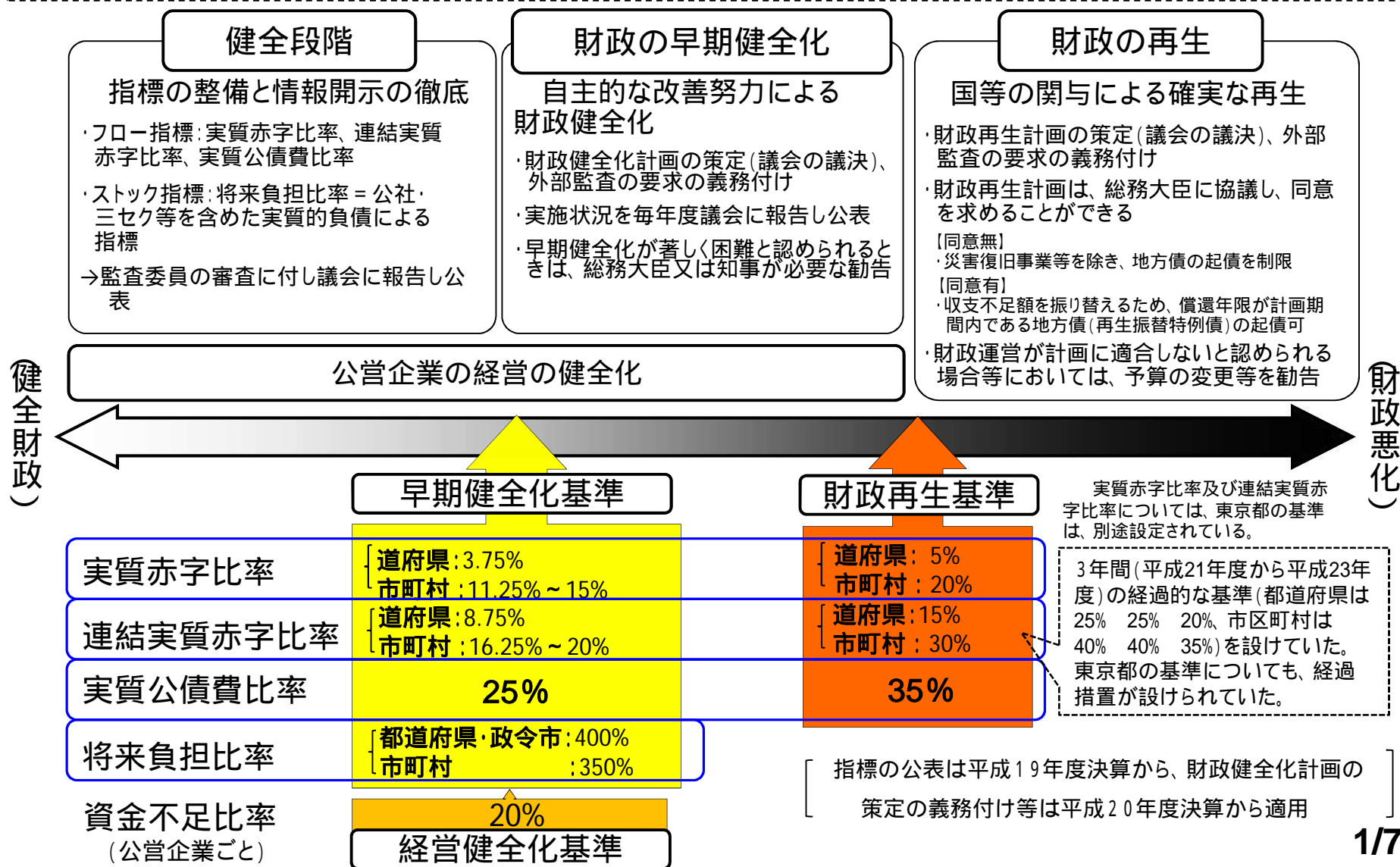
「自治体再建への取組について」

平成26年6月1日

総務省自治財政局財務調査課
財政健全化専門官 久代伸次

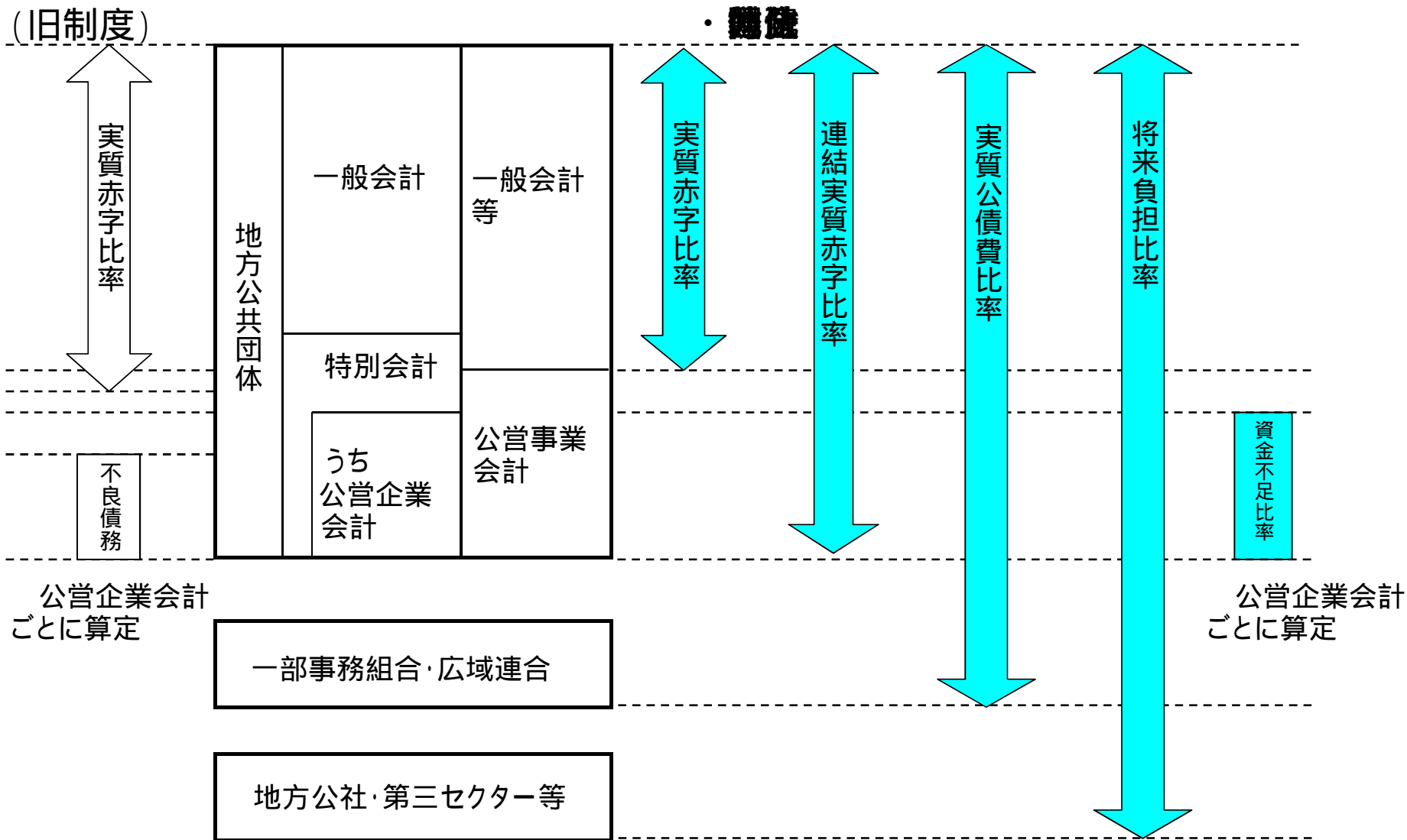
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の概要

旧来の地方公共団体の財政再建制度では分かりやすい財政情報の開示や早期是正機能がない等の問題が指摘されていたため、新たな指標の整備とその開示の徹底、財政の早期健全化や再生を図る「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)」が平成21年4月に全面施行されています。法律の概要は下図のとおり。



健全化判断比率等の算定の対象となる会計

健全化判断比率・資金不足比率の算定の対象となる会計は下図のとおり。



財政再生団体及び財政健全化団体の推移

	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	
財政再生団体	北海道 夕張市	→				
	青森県 大鰐町 大阪府 泉佐野市	→				
	北海道 洞爺湖町 奈良県 御所市 沖縄県 座間味村 伊是名村	→				
財政健全化団体	北海道 江差町 由仁町 中頓別町 福島県 双葉町 奈良県 上牧町 鳥取県 日野町 沖縄県 伊平屋村	→				
	北海道 歌志内市 浜頓別町 利尻町 山形県 新庄市 群馬県 嬬恋村 長野県 王滝村 兵庫県 香美町 高知県 安芸市					
団体数合計	22団体(1 団体)	14団体(1 団体)	7 団体(1 団体)	3 団体(1 団体)	3 団体(1 団体)	

団体数合計の()内の数値は、うち財政再生団体数。

財政健全化のための取組(主な例)

歳 入	歳 出
徴税強化(収納率向上、滞納整理)	職員数の削減
遊休資産の売却	給与の削減
使用料・利用料の引上げ	施設運営の見直し(施設の統廃合、 指定管理者制度の導入等)
超過課税	経費削減、投資的経費の抑制
など	地方債の繰上償還
	新発債の発行抑制
	など

北海道夕張市について

1. 夕張市の概況

- ・人口・・・S35国調(最大時):107,972人→H22国調:10,922人(H26.3.31住基人口:9,765人)
老齢人口割合・・・H22国調:43.8%(道内最高) [参考]北海道:24.7% 全国:23.0%
- ・面積・・・763.20km²(うち林野面積:91%) [参考]東京23区:621.98km²

2. 夕張市の財政悪化要因

歳入減少

- ・炭鉱の閉山(炭鉱数S35:17→H2:0)による人口減少に伴い歳入が大幅に減少

歳出規模の拡大

- ・観光施設整備(「石炭の歴史村」整備、リゾートホテル取得等)による公債費等の負担(H16人口一人当たり地方債残高:1,007千円 類似団体平均:498千円)、三セク(石炭の歴史村観光、夕張観光開発等)の運営への赤字補てんの増大等
- ・歳入減少に伴うサービス水準の見直しや組織のスリム化が大きく立ち遅れ、総人件費の抑制も不十分(H16人口千人当たり職員数:20.12人 類似団体平均:10.20人)

不適正な財務処理

- ・会計間で年度をまたがる貸付・償還を行うことで赤字決算を先送り

北海道夕張市について

3. 夕張市財政再生計画の概要

計画策定の経緯

- H18. 6.20 夕張市長が旧再建法に基づき財政再建に取り組む決意を表明
9.29 夕張市議会が財政再建の申出を議決
H19. 2.28 夕張市議会が財政再建計画を議決
3. 6 総務大臣が財政再建計画に同意(実質計画期間H19～H36[18年間])
H22. 3. 2 夕張市議会が財政再生計画及び同計画の総務大臣への協議を議決
3. 9 総務大臣が財政再生計画に同意(実質計画期間H22～H38[17年間])

解消すべき赤字額

再建計画策定時 353億円 [参考]H17決算歳出規模:126億円
再生計画策定時 322億円 [参考]H20決算歳出規模:73億円

主な取組み

歳入:市税の税率引上げ(市民税、固定資産税、軽自動車税等)、使用料・手数料の見直し(施設使用料50%引上げ、ごみ処理手数料の新設等)など
歳出:人件費見直し(全国の市町村の中で最も低い水準)、事務事業等の抜本的見直し(観光事業会計の廃止、病院を診療所に縮小等)など

国、北海道の対応

国:赤字振替債である再生振替特例債の利子の一部負担(特別交付税)など
道:道貸付金借換制度の創設(償還期限の延長)、職員派遣(H25:13名)、一部市道の除雪など

夕張市まちづくりマスタープランの概要

基本理念・まちの将来像・まちの基本目標

【基本理念】

夕張の歴史文化・自然環境の保全と継承

歴史文化

夕張の発展を支えた産業遺産や各地域の強いコミュニティ・きずな（旧炭鉱住宅群跡、ズリ山、地域文化など）

自然環境

長い時間をかけて形成してきた、貴重で豊かな自然環境（夕張岳、夕張川、貴重な動植物など）

【まちの将来像】

安心して幸せに暮らすコンパクトシティゆうばり
～夕張の歴史文化・自然環境を大切に持続可能な地域社会の構築～

【まちの基本目標（ビジョン）】

暮らし **豊かな生活の確保・推進**

- ①安心・安全に生活できるまちづくり
- ②誰もが暮らしやすい、ひとにやさしいまちづくり
- ③快適で魅力あるまちづくり
- ④夕張の歴史文化とコミュニティを大切にまちづくり

活力 **地域活力の創出**

- ⑤地域資源を活かした活力を創出するまちづくり
- ⑥都市経営コストを軽減するコンパクトなまちづくり

環境 **自然・地球環境との共生**

- ⑦豊かな自然環境・生態系の保全・活用するまちづくり
- ⑧低炭素社会に向けた地球環境にやさしいまちづくり

清水沢地区の将来像と基本方針

● 地区の将来像

都市機能が集積した、ゆうばりの新たな拠点となるまち

● まちづくりの基本方針

1. 魅力的な生活環境の創出

- ・地域のコミュニティを大切に市営住宅の再編・集約化と優良ストック化に資する改善による安心・安全の居住環境づくり
- ・市営住宅の建替によるコミュニティ豊かな魅力的な住環境の創出 など

2. 都市拠点および交流拠点機能の強化

- ・都市拠点としての生活利便機能の向上（商業・医療福祉・子育て・交流機能）
- ・学校を核とした地域教育環境の充実
- ・若者や高齢者の同世代や多世代が交流する地区コミュニティ拠点の整備
- ・子どもの居場所となる公園や交流施設の充実

3. 地域活力を生み出す環境づくり

- ・工業団地等への新たな産業立地の誘致・促進
- ・都市拠点の形成による新たな雇用の創出
- ・生産を支える良好な住環境の形成

4. 豊かな自然環境の保全と創出

- ・夕張の原風景（ズリ山）の保全と継承
- ・夕張川や志保加別川などの河川環境の保全 など



■ 都市構造の再編プロセス ■



一清水沢地区の特徴一

- 全世帯の約4割が居住
- 小中学校、高校がある。
- 地形は比較的平地
- 工業団地がある。
- 交通網が充実（JR線、国道452号線）
- 老朽市営住宅が多く建替えを促進
- 再開発可能な市有地が34ha（うち清陵地区は25ha）
- C B M開発有力地

～これまでの都市拠点機能づくり～

小中学校の統廃合

安全な通学体系



旧公営住宅のリモデル事業

高齢者専用住宅 障がい者のグループホーム



新規公営住宅建設事業



DMVの誘致活動

